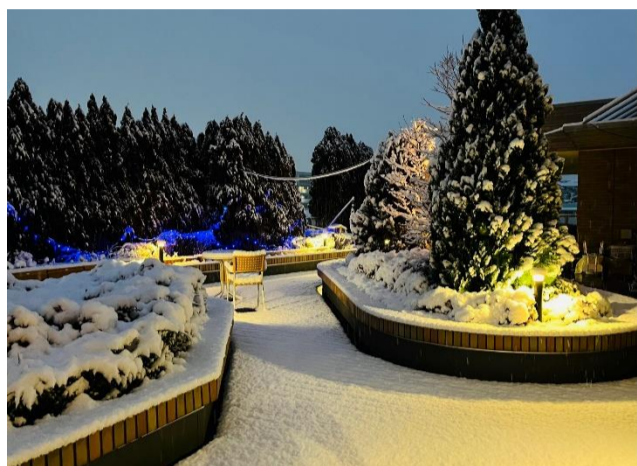


ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園の雪景色 (2022年1月6日)

立春大吉

小森 公美
2022年 2月 12日

2月に入り暦の上では春がやってきました。今年の立春は2月4日だったのでその前の日の節分は2月3日でしたが、去年は124年ぶりの2月3日の立春で節分は2月2日だった事を思い出しました。

私は2月のイベントというと節分の豆まきを真っ先に思い浮かべますが、昔の日本では立春がお正月でもあり、立春にまつわる風習も色々あるようです。その一つに「立春大吉」のお札を玄関に貼り、1年の無病息災を願う、というのがあります。立春大吉は1つ1つの漢字がどれも左右対称の文字なので、縦書きすると裏から見ても立春大吉になります。家に入ってきた鬼が振り返った時に、入ったつもりがまだ入っていなかった！と勘違いして家から出ていくとされ、厄除けになると考えられていたようです。

人から恐れられる鬼ですがうっかり勘違いする姿を想像すると滑稽だなと思いました。



写真=通常メニュー (昼食 2月14日)
ちゃんぽん面、サトイモと人参の煮物、うまい菜とツナのパンパンドレッシングサラダ



写真= トロミ付き炭酸飲料を用いて嚥下訓練を行っている場面 (2022年 2月 10日)

炭酸飲料でリハビリ

岡 聖史
2022年 2月 13日

ロイヤルホームでは嚥下リハビリテーションをご提供させていただいています。ご入居者様やご家族様のご要望に全てお答えできているわけではありませんが、他の施設には中々ない独自のサービスと考えています。今回は、この嚥下リハビリテーションについてご紹介させていただきます。

炭酸飲料は、シュワッとした感じが特徴であり、多少の好き嫌いがありますが、人気の飲み物と考えます。ビール、コーラ、ジュースと年齢による差も少ないのではないのでしょうか。この炭酸飲料は嚥下トレーニングにおいて、良い結果をもたらすと報告があります。もともと、酸性の強い飲食物は訓練に不向きと考えられていましたが、現在は違うようです。

ロイヤルホームにおいても、炭酸にトロミをつけて訓練を行うことがあります。これは上記の理由に加えて、「おいしいから」です(個人の感想としては、トロミの付いたお茶やジュースよりもはるかにおいしいです)。勿論ですが、評価により安全に行える方のみです。

では、どのようにして炭酸飲料にトロミをつけるかをご説明したいと思います。お茶やジュースであれば、コップに注いで、くるくる回しながらトロミ剤を入れて、更にくるくる回して、ダマができないように・・・というのが一般的なトロミの付け方です。これを炭酸飲料に行くと、たちまち炭酸が抜けてしまい単なる砂糖水になってしまいます。そこで、炭酸飲料の場合はペットボトルの中に直接トロミ剤を入れます。その後直ぐに蓋をしめて、3分程振り続けます。その後、冷蔵庫にて1日置くと出来上がりです。ちなみに、ビールについてはペットボトルではないので、今後の課題とさせていただきます。

ロイヤルホームは”病院”ではなく”家”ですので、少しでも日常生活のものを利用できればと考えています。今回は炭酸飲料についてでしたが、この他にも創意工夫でご入居者様の満足につながる情報や、リハビリテーションを実現してまいります。

注意：嚥下に問題のある方は、必ず専門家に相談してください。誰でもトロミ付き炭酸飲料が飲めるわけではありません。

今月のトピック

#ちょっと透析へ。

#委員会活動報告(業務の電子化)

#スタッフ紹介

#おしらせ(もの忘れ外来)

ちょっと透析へ。

石井 太一
2022年 2月 16日

住み慣れた地域で生活を継続していく為には、多様な医療ニーズが地域には求められます。ロイヤルホームを「住まい」とされている皆様も、ここ川崎麻生という地域の中で恒久的かつインクルーシブ（包摂的）に医療介護サービス受けながら「その方らしく」生活を継続していただく事が欠かせません。当ホームと連携する麻生総合病院には、人工透析センターが置かれています。慢性腎不全により血液内の老廃物の除去を要するご入居者様にとって、人工透析はMUSTな日課です。透析が必要なご入居者様を麻生総合病院と一体となってサポート出来る事は、当ホームのストレンクスとなっています。

ご入居者様は月・水・金または、火・木・土の週3回人工透析センターに通院します。通院モビリティもご安心下さい。直接ホームに透析ドライバーが車でお迎えにまいります。1年の中で最も寒い2月も暖かい車内とハートフルなドライバーが病院フロアまでご案内致します。

人工透析センターでは、静脈と動脈をご自身の血管または人工血管をジョインする「シャント」を造設した上で、透析器により4～5時間かけて血液内の老廃物浄化を図る血液透析を行っています。透析療法を行うご入居者様にとって、週3日で長時間に渡る療治は身体精神的負担が伴います。当透析センターは、開放的な窓配置が施されており、柿生の自然光が明るく差し込みます。皆様のストレスを除去する為に、透析スタッフがコミュニケーションで一人一人に介入し、どこに強い悩みを抱えていらっしゃるのか聴き出し、心のリラクゼーションに努めております。また、血液透析を行う全ベッドには液晶テレビを完備しており、現在白熱している北京2022オリンピックの観戦もお楽しみいただけます。

透析の対象である皆様の主治医は、透析内科医が担当させていただきます。食事をはじめとした栄養管理面やロイヤルホームにおける生活をどの様に送ればベターかアドバイスを致します。当ホームとしてもレジリエントな支援のお力になれたらと考えております。

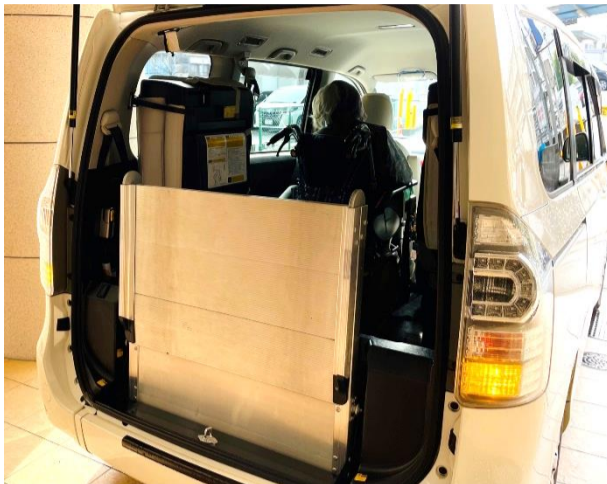


写真 = 送迎車に乗り込んだ場面 (2022年2月14日)



写真 = 透析に出発するご入居者様 (2022年2月14日)

スタッフ紹介

2022年2月1日



振り返り

岡 聖史
2022年 2月 4日

お正月を迎えると同時期に、オミクロン株が急速に広まりました。日本でもワクチンのブースター接種が高齢者や医療従事者を中心に始まり、今年の1月も慌ただしい状態となりました。ご入居者様にはお正月らしい雰囲気を提供できていないと痛感し、ロイヤルホームの新しい生活はまだ満足とはいえません。日一日と増える感染者の数字を目にするについつい弱気になってしまいましたが、季節感のある生活が実現できるように、年間行事の計画を立案していきます。

お知らせ (もの忘れ外来)

昨年の9月に、麻生総合病院にもの忘れ外来が新設されました。認知症専門医でもある脳神経外科医が担当しております（完全予約制となりますので、ご利用の際はホームページにて詳細をご確認ください）。ロイヤルホームでもすでに利用しています。これからの時代に必須となる専門外来ですので、身近にあると心強いです。



← 透析センター

詳細はこちらから確認できます。QRコードをスマートフォンにて読み込んでください。



← 物忘れ外来

詳細はこちらから確認できます。QRコードをスマートフォンにて読み込んでください。

委員会活動報告 (業務の電子化)

岡 聖史
2022年 2月 8日

業務委員会では、これまで紙を使用して行っていた仕事をパソコン上で行える形（いわゆる電子化）へと移行しています。昨年はWi-Fiの導入によって、ipadの使用できる範囲が広がったことが大きな進歩でした。今年のご入居者様のスケジュールをipadに全て登録し、このスケジュールに沿って

サービスを提供するよう進めてまいりました。ケアのタイミング・時間の変更、道具の変更、内容の変更と日々様変わりしますが、ご意見をいただく場面も少なくありません。また、同じような内容の失敗も散見していました。これを人間の認知機能の限界と考え、記憶に頼らず常に確認しながらケアが行える形に変更しました。実は2年前からこの試みは行われ、4Fから開

始していました。2F、3Fの規模を考慮するとWi-Fi導入が追い風となり踏み切ることができました。また、書類の管理という点においても場所をとる為、何かと不便が多くなります。一番の苦労は、機器のハード・ソフトともにユニバーサルデザインであるものを探すことでした。職員の年齢構成は幅が広く、誰でも扱える必要があります。今回はipadとケアパレットに感謝しています。